

令和2年度第1回西脇市地域福祉計画推進会議（書面会議）の結果報告について

1 会議の成立

全ての委員（19名）から書面の提出がありましたので、過半数以上の出席（書面提出者を出席者とみなす）を満たす結果となり、会議が成立したことを報告いたします。

2 協議結果

(1) 次第3：会長・副会長の選出

ア 会長1名、副会長2名の選出について

委員19名のうち、全委員の承認がありましたので、会長1名副会長2名の選出といたします。

イ 会長・副会長の選出について

事務局一任により下記のとおり選出・承認されました。

会長：齋藤 周藏 委員

副会長：谷口 泰司 委員

副会長：村上 典正 委員

(2) 次第4：協議事項

ア 第三次西脇市地域福祉計画の進捗状況について

【意見】

○今後ですが、評価軸と評価理由または課題欄の記述を分けて考えても良いかと思えます。軸は「〇〇を開催した」「〇〇を周知した」か否かで、実施していれば「A」が良いと思うのですが、理由または特に課題については、より前向きに見ていくと良いと思えます。（どの項目でも、現状Aであるから問題なし、というわけではなく、今後は中味や実質的な効果としてどうかと言う視点で）

⇒今後の調査において、取組に対する課題・方向性を更に前向きに検討できるよう、評価軸と分けて考えることとしたいと思えます。

○おおむね妥当な進捗状況だと思えますが、地区での防災計画の策定や防災訓練の実施などが低いのが気になります。なかなか地区ごとで動くことは難しいので、年ごとに重点地区を決め行政が主導し積極的に介入していくのはどうでしょうか。

⇒貴重な御意見として、担当課へ繋いでまいります。

○コロナ禍によって、これまで計画されたことが、以前のように進められないこともあるが、基本施策の取組と、課題・今後の方向性を見ると、後退することなく推進を図るためには、コロナウイルスに対して、万全の対策のもと、人が動き、会合がもたれることが大切と思う。

生活しづらい人が増える中、福祉サービスについて知り、それを受け易くするための手続きの簡略化についても可能な限り、再考していただきたい。

⇒福祉サービス等の情報については、わかりやすい提供方法に努めます。また、続きの簡略化については、押印廃止等の国の動向を踏まえ、進めていきたいと思えます。

○コロナ禍で地域福祉推進会議にて協議できなかった事を残念に思います。取り組まれている事業についての説明を聞く事によって事業の内容を理解できると思えます。取り組み事業が多い事、それについての評価がされていると思えました。

地域支援事業の取り組みのお陰で平穏な日常生活が送れている事に感謝します。

○目標値の検証も大切ですが、本来すべきの「まちづくりのビジョン」が検討されていないように感じます。

○広い分野なのでなかなかしっかりと状況を把握する事ができませんでした。ただ評価の”D”の項目についてはしっかりと目を通しました。

○コロナウイルス感染症のため大変な折、各施策の取組状況の評価もA、B評価が多数。次年度はC、D評価の所に力をいれてほしい。

出来る事と出来ない事がありますが、今年度は見えないウイルスとの戦いの中頑張ってくださいと思います。

○コロナの拡大により、通常と違い、進捗状況を見るのは難しい。ワクチン接種も予定より遅れ、3年度も難しいのでは？

○大変な作業となると思いますが、よろしくお願いします。

○進捗管理表により市全体として把握しやすくなったと思えます。

## イ その他（質問・意見）

### 【意見】

○西脇市でも在住外国人の人数が増えてきていますが、彼らに対する取り組みはあるのでしょうか。特に防災時の意思の疎通がなければ、彼らのみならず、市民にも影響が出る可能性もあります。集団生活をされていることが多いかと思いますが、周りの住民と交流、防災計画の共有、訓練への参加など、今後考えていく必要があるのではないかと考えます。

⇒日本語の通じない在住外国人家庭において、災害などの防災情報取得には、多言語に対応している、ひょうご防災ネットを利用してもらえるよう、ダウンロード方法を書いたチラシを戸籍住民課や公共施設の窓口で配布しています。

また、避難所に避難された場合には、体調等の確認が指差しで簡単にできるようなポスター（多言語ボード）を作成し準備をしています。

新型コロナウイルス感染症対策では、予防や対処方法などの周知を関係機関と連携し厚生労働省や新型コロナウイルス感染症対策分科会が多言語で作成している新型コロナウイルス感染症の予防啓発チラシを事業所に掲示して頂くとともに、従業員に配布して頂き、外国人が多く居住する集合住宅にも多言語チラシを掲示及び設置させていただきました。

在住外国人の方々が、地域の住民との交流や防災訓練へ参加してもらえるよう地区の自主防災組織と連携して行きます。

（防災安全課）

○何があっても、決めたことを進めていくのがこの会議の使命ではないかと思えます。